

情 報

日本作物学会第 223, 224, 225 回講演会小集会開催報告 「作物学のアイデンティティを考える」

発起人：(代表) 齊藤邦行 (岡大院自然), 井上眞理 (九大院農), 岩間和人 (北大院農),
桂圭佑 (京大院農), 後藤雄佐 (東北大院農), 巽二郎 (京都工繊大工芸科),
山内章 (名大院生命農), 山岸順子 (東大院農生命).

平成 18-19 年度 (前期) の國分牧衛前会長の依頼により, 若手支援の具体策を検討, 提案する組織として若手育成方策ワーキンググループ (以下若手 WG) を立ち上げた. 若手 WG では, 若手研究者海外学会出席に関する内規案を提案し, 平成 19 年度評議員会, 総会の議を経て制定され, 庶務幹事を窓口 to 海外交流推進委員会で選考が行われた. 2007 年度後期 6 名, 2008 年度前期 4 名 (内 1 名辞退) に助成がなされ, 本会記事に参加報告がなされている. これと平行して, 若手の会 (作物学を志す有志) が活動を活発化し始め, アンケート調査を行った結果, 若手を対象とした企画としてワークショップの開催, 苦勞談を聞く会, 古参会員が若手の前で農学・農業・自分の研究に対する夢を語る会等の希望があった. そこで, 若手 WG で相談したところ, 過去の作物学会を担ってこられた会員に, ご自身の研究や作物学について, 講演してもらう小集会「作物学のアイデンティティを考える」を企画することになった.

第 223 回講演会 (茨城大学, 平成 19 年 3 月 31 日) では石原 邦氏, 第 224 回講演会 (金沢大学, 平成 19 年 9 月 27 日) は森田茂紀氏, そして第 225 回講演会 (農林水産技術会議事務局筑波事務所, 平成 20 年 3 月 28 日) は堀江 武氏のお三方に自由なテーマでのご講演をお願いした. 各小集会とも盛会で, 50 名を超える参加が得られ, 講演終了後活発な質疑応答が行われた. これまで, 小集会の発起人代表は, 小集会の概要を本会記事に掲載することが慣例となっている. いざ, 開催報告を書く段になると, それぞれの講演が重厚かつ濃密で, 演者の人生哲学にも関わる内容であり, 安易な文章化は難しいと感じた. そこで, 本会幹事会に和文誌の情報記事として, 各演者の講演内容を掲載することを幹事会に提案し, 承認された. 講演概要の執筆を演者に依頼し, 以降 3 回に分けて記事として掲載することで, 小集会の開催報告としたい.